横浜市立榎が丘小学校　平成30年度　体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1　中期学校経営方針

（1）学校経営中期取組目標

学 校 経 営 中 期 取 組 目 標
○豊かなかかわり合いを大切に、一人ひとりが認められ磨かれる学校にします。 ・意欲的にしっかり学習に取り組み、得意分野を伸ばします。 ・かかわり合いながら自己の良さや他者の良さに気がつき、認め合い、多様性の中で高め合うようにします。 ・居心地の良い集団の中で、思いやりや自己有用感が持てるようにします。 ・保護者地域との連携を深め、学校・家庭・地域協働教育を進めます。

（2）体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

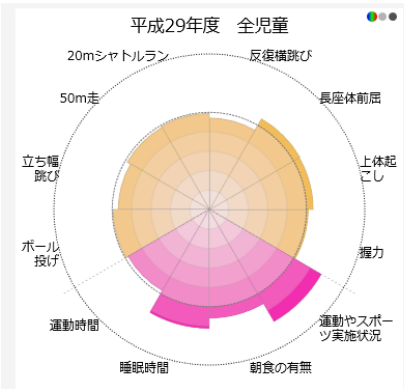
重点取組分野		取 組 目 標	具 体 的 取 組
健やかな体		運動する楽しさを実感し、進んで運動に取り組む子どもが増えるように，体力向上の取組の継続推進。食育で自分の身体への気づきが増すように努める。	①長縄大会、マラソン、３ＵＰランドは改善・継続する。 ②給食や体格との関わりから体力向上を考え、自分の体への気づきを促し、健康について考えられる取組をする。 ③栄養士、養護教諭と保護者との連携を図り、食育の活動に取り組む。
担当	健康安全部		

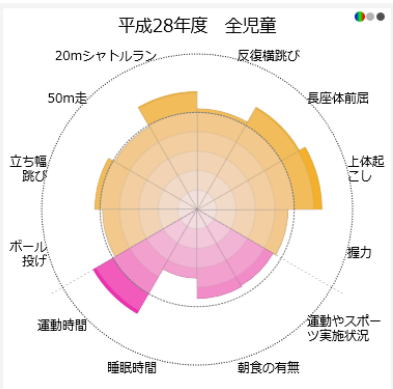
2　体育健康に関する実態把握

（1）体育・健康に関する実態

・新体力テストの結果は平均より低い項目が多い。（特に柔軟性・筋力）
・積極的に運動する子と運動する機会がない子の二極化が見られる。
・擦り傷など怪我をする児童が多い。全体的に低視力の児童も多い。
・給食で主食（ご飯）を残したり、箸を上手に扱えなかったりする児童が多い。

（2）体力の概要と要因の分析（小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用）





体力テストの結果を見ると、ここ数年、市の平均を上回ってきたが、昨年度は全体的に体力の低下が見られた。

運動の実施状況が上昇していることからは、日常で運動する児童とそうでない児童の二極化が進んでいることも窺えるが、例年行なってきた体力アップの取組や長縄大会といった活動が、昨年度は十分に行えなかったことも原因と考えられる。

３　体育・健康に関する具体的取組

教　科

《体育科・保健体育科での取組》

・体育科・保健体育科では、自分の体に関心をもち、主体的に運動に取り組む子どもの姿をめざして、運動の楽しさに気付かせる。また、友達との関わりの中で、自分にあった練習方法を選択できるようにする。

《他教科での取組》

・**養護教諭、栄養士と連携しながら、食、体力、体格を関連させ考える授業，活動を行う。**

道徳･特活･総合

・エノリンピックでは、体育学習で培った走力や表現力など資質能力を向上させる。

・運動委員会で全校の運動能力向上のための取組を主催する。

・保健委員会で「笑顔で３UP」を合言葉に、健康・成長・体力の３つをアップすることを目指す。

・給食委員会で食に関心を持たせる取り組みを実施する。

課外活動

・個人面談等を利用して体力テストの結果や保健情報等を家庭と共有する。
・小中学校の連携を生かし、中学校の部活動体験の機会や合同練習の機会を設定する。

平成30年度　榎が丘小学校　運動時間の確保

（１）外遊びの奨励
運動委員会児童が全校に外遊びを紹介したり呼びかけたりするようにする。

（２）運動量確保を意識した授業づくり
準備運動や慣れの運動を授業の最初にしっかりと行う。
また、場を工夫して、一人一人が十分に運動できるようにする。

（３）運動イベントの開催
大縄集会、マラソン・短縄週間を設け、クラス、学年、学校全体として目標に向かって、運動に取り組めるようにする。

指標：①新体力テストのデータ集計
②学校保健委員会における、健康の保持増進に関する取組の調査から
③生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「１日の運動スポーツの実施時間」から検証する

＜参考＞　学習指導要領総則　「学校における体育・健康に関する指導は、児童（生徒）の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。」